

学校 教育 目標	「豊かな心と自ら学び続ける力をもち、すこやかに生きる子の育成」 ～のびていこう「わかる つながる 高め合う」はやぶちっ子～			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らの課題を解決するために主体的に取り組む子を育てます(知)</li> <li>○ 自他の存在を尊重し、ともによりよく生きようとする子を育てます(徳)</li> <li>○ 自他の生命を大切にし、健やかな心と体をつくる子を育てます(体)</li> <li>○ まちに学び、まちとのふれあいを大切にすることを育てます(公)</li> <li>○ 人や自然、文化に進んで関わり、広い視野で考える子を育てます(開)</li> </ul>			
学校 概要	創立 46 周年	学校長 板橋 典子	副校長 井桁 寛	2 学期制 一般学級: 15 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 467 人	主な関係校: 新田中学校、早渕中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	新田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	新田中学校 新田小学校 新吉田小学校 綱島小学校	「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる子  小中学校間の連携を深めることにより、義務教育9年間の学習指導と生活指導の円滑な接続ができるようにする。

中期 取組 目標	○子どもが主役の、みんながともに学び、伸びていく学校づくりを進めます。 ・子ども一人ひとりが自分のよさを発揮できる学習を展開し、授業を通して学力の向上とともに何でも言い合える人間関係を築きます。 ・縦割り活動や音楽の交流等、異学年交流に力を入れ、自己有用感や互いに思いやる心を育みます。 ・地域や外部の教育力を活用するとともに、まちを愛する気持ちを育てます。 ・職員個々が自分の持ち味や力量を生かして学校づくりをしていくとともに、互いに高め合う職員集団づくりを進めます。
----------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①重点研究テーマを「豊かに伝え合い、学ぶことを楽しむ子どもの姿をめざして」とし、主体的に学ぶ児童の育成を目指すとともに、教員の指導力の向上に努める。②タブレットを有効活用し、「個別最適な学び」と「協同的な学び」の充実を図る。③日課表改定に伴い、各学年の年間指導計画を見直し、より一層横断的総合的な学習の計画・実施に努める。
担当	のびていこう・学状	
徳	人権教育	①教育全体を通して人権教育を行い、自他を大切にできる心情と態度を育てる。②異学年交流を通して相互理解を深めるとともに、自尊感情を高める。特に高学年においては、委員会活動やクラブ活動でも意識的に行う。③道徳の授業や人権週間等、人権意識を高める教育活動を全校で計画的に行う。
担当	人権・福祉	
体	健康教育	内発的なやる気を大切にし、互いを認め合い、励まし合って運動の楽しさや喜びを味わい、運動に親しむようにする。また、運動の楽しさや喜びを味わう体験を作り、自分の生活に運動を取り入れ、健康で安全な生活をしようとする姿を目指す。
担当	体育	
公開	自分づくり教育	地域の材や外部の教育力を活用し、人とつながり、体験的に学ぶ活動を積極的に取り入れる。前年度に引き継いだ教育課程上での活動内容を生かしていく。子どもが主体的に人と関わる中で学んでいけるような活動内容をさらに工夫し、将来の自分について考え、行動できる力をはぐくむ。
担当	研究推進	
いじめへの対応		①「YPアセスメント」「生活アンケート」「児童との面談」を計画的に実施し、全職員がそれぞれの立場からいじめの未然防止と早期解決に努める。②「学年研」、「職員会議」、「いじめ防止委員会」を通し、情報共有を徹底し、職員間の連携を大切にする。当該児童に寄り添った迅速な対応を行う。
担当	いじめ防止対策	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①メンター研修を月1回計画し、学級経営や学習指導力の向上を図る。②重点研究や校内研修を意図的・計画的に実施し、授業力・教師力の向上を図る。③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化をさらに進める。④日課表改定を有効なものにするために、行事・会議の精選、業務の効率化を進めていく。
担当	教務	
特別支援教育		①児童の教育的ニーズの把握、保護者の願いを丁寧に汲み取り、支援を行う。生活や学習上の困難を改善し、力を発揮できるよう、児童に合わせた配慮を考え、実施していく。②校内研修やSC、SSW、関係機関との連携を図り、よりよい支援方法を学び、実践に生かす。
担当	特別支援	
児童生徒指導		①児童の思いや願いを理解し、一人一人に寄り添った指導、支援に努める。②「YPアセスメント」を効果的に活用し、「横浜プログラム」を年間通して計画的に実施していく。互いが認め合えるよりよい学級作りを努める。③学校スタンダードを指導の拠り所とし、学校として一貫性のある指導を行っていく。
担当	児童指導	
地域学校協働活動		①開かれた学校づくりに努め、地域の材を生かし、人々と交流をしながら体験的に学ぶことができる機会を増やす。②生活科・総合的な学習の時間を中心に地域の材や教育力を活用し地域と連携した学びを継続する。③学校運営協議会でもたれた話し合いを教育に生かしていく。
担当	教務	
a15		b10
担当		